

久保・長江中学校区に係る学校再編についての地域説明会 主な意見・質問

令和5年5月15日
学校経営企画課

1. 土堂小学校区地域説明会（令和5年3月25日）

○適正な学校規模の確保について

- ・デジタル革新の時代においては、小さな学校が点在し、ウェブで授業を共有するような新しい教育が実施できるのではないか。(P2)
- ・複数学級でないによりよい教育環境ではないということか。(P23)
- ・小規模校でも学力は低下しない。(P28)
- ・日比崎小学校区の一部を土堂小学校区に入ればよいのではないか。(P36)
- ・令和10年度に統合小学校でも単一学級が生じるが、どう捉えているか。(P39)

○学校選択制度について

- ・学校選択制度の利用において、応募が多数あった良い学校を廃止することは考えられない。学校選択制度を改めたが、以前の制度が間違いであるなら反省が必要だ。(P30・31)

○小中一貫教育校について

- ・小中一貫教育はどこの自治体でも行っており、新しいとはいえない。(P23)
- ・検討にあたっての考え方が3点（安全性・耐久性・適正な学校規模の確保）示されたが、これがなぜ小中一貫教育校に結びつくのか。(P22・23)
- ・今後、市内全体でも小中一貫教育校を目指すのか。(P24)

○安全安心の確保について

- ・災害が起きた時に、旧土堂小学校の場所であれば、地域が子供を助けに行くことができるが、そういった考えはないのか。(P14)

○通学路の安全安心の確保について

- ・まず長江通りの安全確保を行ってから統合を行うべき。(P16)
- ・小学生に長江通りを歩かせるのは、非常に危険である。(P37)

○施設について

- ・耐震化を取りやめた経緯は。耐震化は居ながら施工ができないと言っていたが、児童のいない今ならできではないか。(P20)
- ・コンクリートは100年でも200年でももつと言われているが。(P35)
- ・千光寺グラウンド横の体育館の耐震化の進捗状況はどうか。(P32)
- ・新校舎建設には64億という税金が使われる。大きな問題である。(P40)

○地域について

- ・学校の歴史や伝統についてはどう考えているか。(P39)

○その他

- ・対話のための説明会ではないと感じる。(P12)
- ・教育によって人口を増やそうという考えはないのか。(P14)
- ・地域の半数が回答したアンケートで8割が反対したことについて、どう考えるか。(P18)
- ・市民や学校運営協議会への説明は、保護者より早く、または同時に行うべきである。(P12・18)
- ・学校運営協議会が統合に対して要望したことをどう受け止めているか。(P18)
- ・住民の意見を聞いて、1回白紙にして考えていくのもひとつの方法ではないか。(P22)
- ・保護者説明会は今後何回予定されているのか。(P25)
- ・学校がなくなると地域が衰退する。(P38)

2. 久保小学校区地域説明会（令和5年3月28日）

○小中一貫教育校について

- ・小中一貫教育校では、今までの先生が継続して勤務をするのか。(P13)

- ・施設分離型の小中一貫教育校で、教員同士の連携はうまくいくか。(P14)
- ・小中一貫教育校について、もう少し分かりやすく説明してほしい。(P17)
- ・小中一貫教育校では、運動会などの行事は別々に行われるのか。(P19)
- 通学支援について
 - ・通学支援の具体策は。(P17)
- 跡地について
 - ・旧久保小学校の跡地はどうなるのか。(P14)
- その他
 - ・放課後児童クラブは新しい学校に設置されるのか。(P19)
 - ・ひとクラスあたりの児童数を減らせば複数学級になるが。(P19)

3. 山波小学校区地域説明会（令和5年3月29日）

- 通学支援について
 - ・久保中学校へ通学する山波地域の生徒が利用する路線バスが、今後混雑することが予想されるが、対策を検討してほしい。(P10)
- 通学路の安全安心の確保について
 - ・長江通りの安全対策や、参観日や雨の日の送迎の際にできる渋滞への対策が必要である。(P10)
- 地域について
 - ・各地域の文化への思いをもった子供たちへのケアが必要ではないか。(P12)
- 跡地について
 - ・小学校の跡地が売却されるようなことはないのか。(P11)

4. 長江小学校区地域説明会（令和5年3月30日）

- 適正な学校規模の確保について
 - ・日比崎小学校から越境を認めての土堂小学校の児童の確保は難しいのか。(P23)
 - ・学校選択制を活用して児童数を確保することは考えなかったのか。(P14)
- 小中一貫教育校について
 - ・小中一貫教育校の教育内容は、土堂小学校や長江小学校がやってきたことと同じではないか。小中の連携もどこの小中学校でもやっていることではないか。(P24)
- 通学路の安全安心の確保について
 - ・長江通りの安全対策については、新しい学校ができる前に、対策を行ってほしい。(P19)
- 新しい学校の施設について
 - ・旧長江小学校校舎は、耐震化できるのではないか。(P13)
 - ・現久保中学校や長江中学校の耐震性がある校舎を活用する発想はないか。(P15)
 - ・現長江中学校の周回道路も緊急車両が入れるよう整備をしてもらいたい。(P17)
 - ・土砂災害警戒区域等については、該当の民有地を譲渡してもらい、擁壁を修理してもらいたい。(P18)
 - ・5階建ての新校舎によって、地域の日当たりはどうなるのか。(P22)
 - ・工期の短縮はできないか。子供たちへの負担は少しでも少なくしたい。(P29)
- 地域について
 - ・これまで各小学校が培ってきた文化、伝統、歴史についてどう考えているか。(P25)
- 跡地について
 - ・旧長江小学校の校舎は今後どう活用するのか。(P20)
 - ・現在の長江中学校校舎は今後も避難所として活用できるか。(P30)
- その他
 - ・地域への説明はこれで終わりか。(P26)
 - ・子供のことを一番に考えて進めてほしい。(P27)
 - ・土堂地区以外の保護者の統合に対する反応を知りたい。(P28)
 - ・新しい小学校の校舎内の体育館は、これまで通り地域に開放してもらえるか。(P31)

※ページ数は、尾道市教育委員会事務局学校経営企画課のホームページに掲載しています、各小学校区における地域説明会の議事録に対応しています。